

取付説明書

安全上のご注意

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みになり、正しくご使用ください。

■ここに示した注意事項は、商品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人々への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しております。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しております。

	警告	この表示を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を見逃して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示（例）で区分し説明しています。

		記号は、「警告」「注意」を促す内容があることを告げるものです。 図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。
		記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は一般的な禁止）が描かれています。
		記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 図の中には具体的な強制内容（左図の場合は一般的な強制）が描かれています。

警告

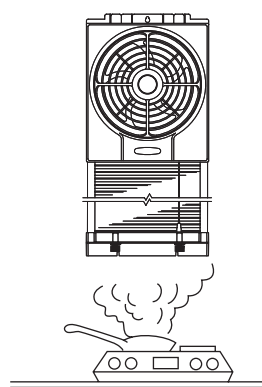
修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造はおこなわない 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。	交流100ボルト以外では使用しない 火災や感電の原因になります。
電源プラグをぬれ手で抜き差ししない 感電のおそれがあります。	電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
電源プラグのほこり等は定期的にふき取る 電源プラグにほこり等がたまると湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。	電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、引っ張ったりしない） 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
ガス漏れのときは換気扇のスイッチを入れたり切ったりしない スイッチ火花によりガス爆発の原因になります。	水につけたり、水や洗剤をかけたりしない（モーター、スイッチなどの電気部品） ショートや感電の恐れがあります。
お手入れの際は、必ず電源プラグを抜く 不意に動作して、やけどをしたり、感電の原因になります。	本体の取付は確実に行う 落下により、けがをすることがあります。

注意

部品は確実に取り付ける 落下により、けがをすることがあります。	運転中は羽根の中に指や物を入れない けがのおそれがあります。
電源コードを引っ張ってプラグを抜かない プラグを持って抜かないとコードが傷み、ショートや発火することがあります。	長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。
浴室など、湿気の多いところに取付けけない 感電や故障の原因になります。	天井には取付けけない 落下により、けがをすることがあります。
炎があたるおそれのある場所には取付けけない プラスチック部品が変形したり、着火して火災となるおそれがあります。	
電気工事（コンセントまで）は必ず電気工事店に依頼する 誤った電気工事は、漏電や感電、火災のおそれがあります。	
お隣の窓や出入り口に、換気の風が吹き込まない場所に取り付ける 換気風がお隣に吹き込み、不快感を与えます。	
窓から侵入されるおそれのある場所に取り付ける場合は、必ず窓の戸締まりをするか、運転中は補助錠（市販品）をご使用する 盗難のおそれがあります。	

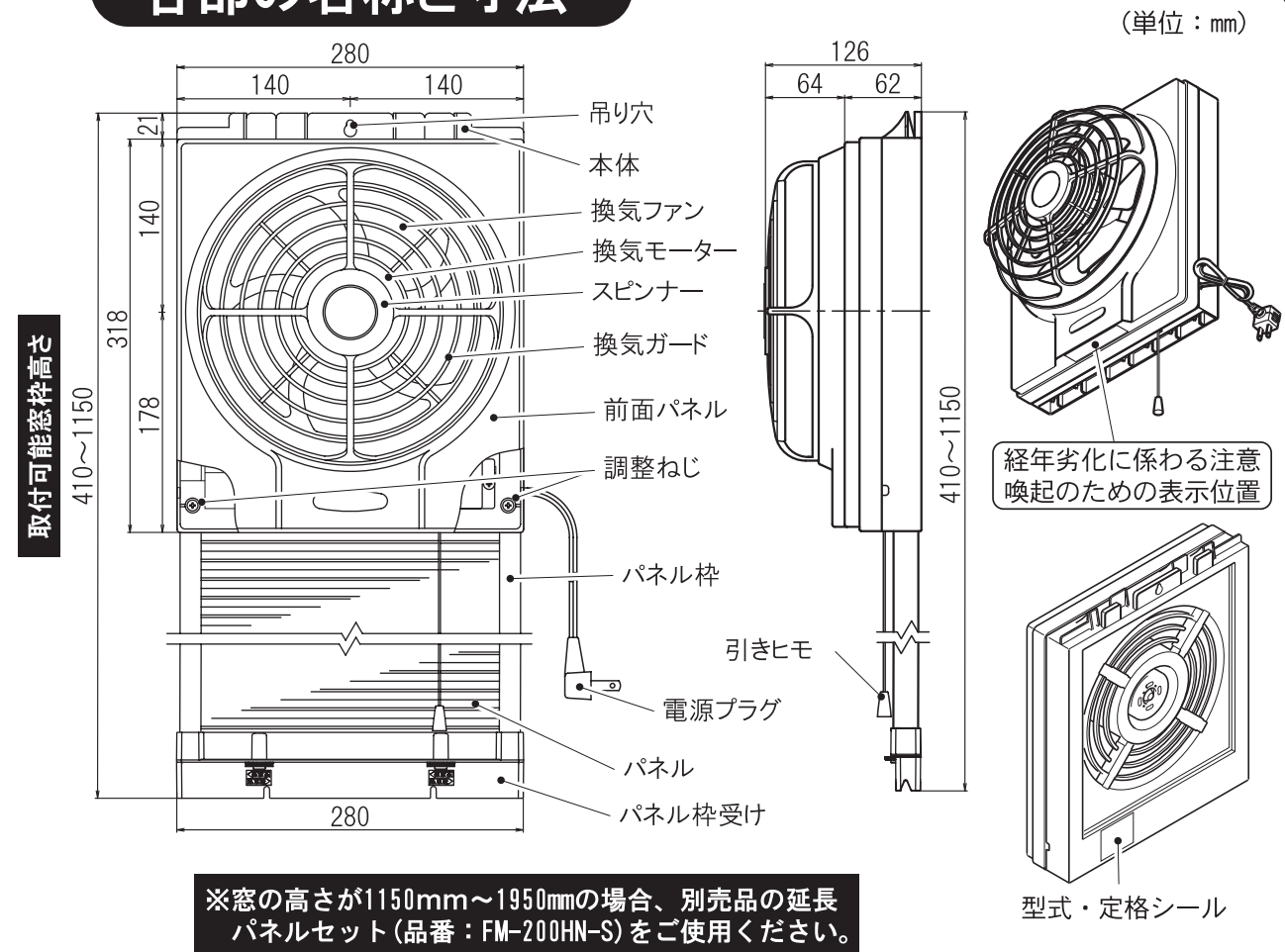
お願い

- 周囲温度5～40℃以内の場所でご使用ください
製品の変形やモーターの寿命を縮める原因になります。
- 台所など油煙の発生する場所では使わないでください
破損の原因になります。
- フィルターは使わないでください。
モーター故障の原因になります。



※ **防犯のため補助錠（市販品）を設置することをおすすめします。**

各部の名称と寸法



【付属品】			
●固定部品A-1ヶ	●固定部品B-1ヶ	●パネル枠受け-1ヶ	●取扱説明書-1冊 ●取付説明書-1枚 ●保証書-1枚
●木ネジ(小)4×20-5本 (固定部品A/B/本体上部固定ねじ)	●パネル枠(長)470mm-2本	●パネル-6枚	
●木ネジ(大)4×45-2本 (パネル枠受け固定ねじ)	●パネル枠(短)350mm-2本		
●ソフトテープ-1本 巾15mm 厚み10mm 長さ1500mm			
【延長パネルセットFM-200HN-S】（別売品） ※窓の高さが1150mm～1950mmの場合に必要です。			
●パネル枠(長)470mm-2本	●パネル-6枚	●中継金具-2ヶ	
●パネル枠(短)350mm-2本	●ソフトテープ-2本		

取り付け参考図

本品は窓枠の左右どちらも取り付けできます。
なるべく左側への取り付けをおすすめします。

【窓左側取付の場合】 【窓右側取付の場合】

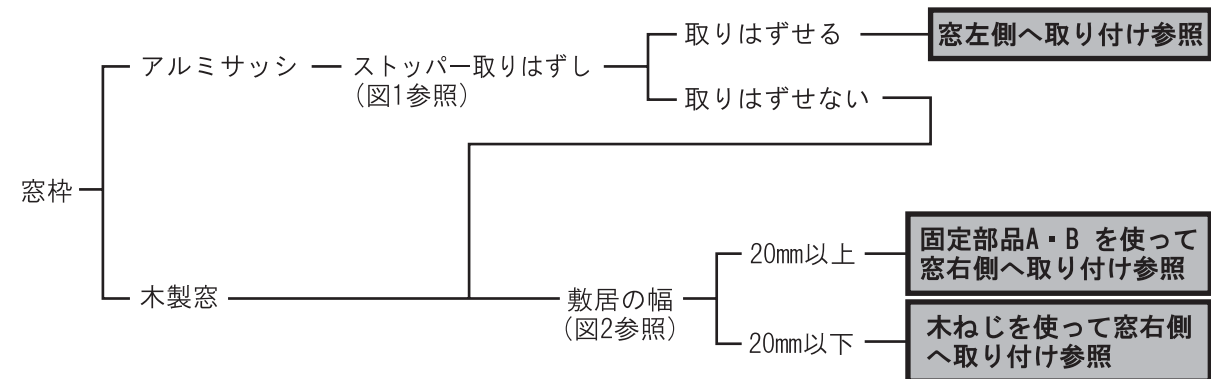
〈取付作業手順〉

- 1-① 取り付け位置の決定
- ↓
- 1-② 窓の高さを測って本体の高さを決定
- ↓
- 1-③ パネル枠とパネル枠受けを本体の高さに合わせて組む
- ↓
- 1-④ パネルを組む
- ↓
- 2-① 1-2-3 本体の取り付け
- ↓
- 2-② 突っ張り調整
- ↓
- 2-③ ソフトテープ貼り付け
- ↓
- 取り付け完了

1. 取り付け前の準備

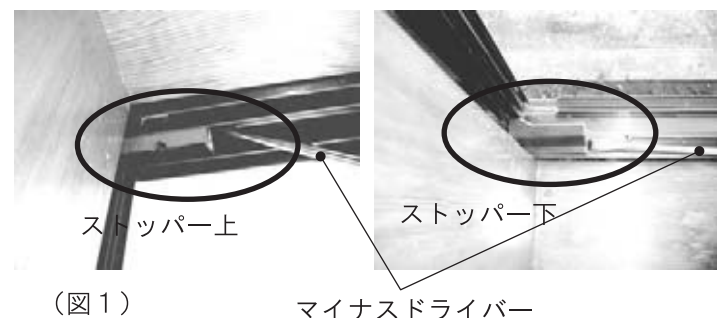
用意する物	・ プラスドライバー、マイナスドライバー ・ ものさし（窓の高さが測れる物） ・ 脚立や安定した台 ・ カッターナイフ
-------	--

①取り付ける位置を決定する

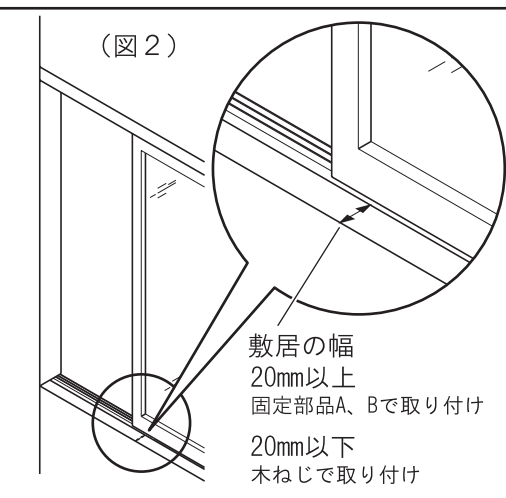


ストッパーのはずし方

マイナスドライバー等でこじあけてはずしてください。
通常ストッパーは、サッシにはめ込まれているだけなので
外すことができます。
どうしてもストッパーがはずせない場合は、窓の右側に
取り付けてください。(右側に取り付ける場合参照)

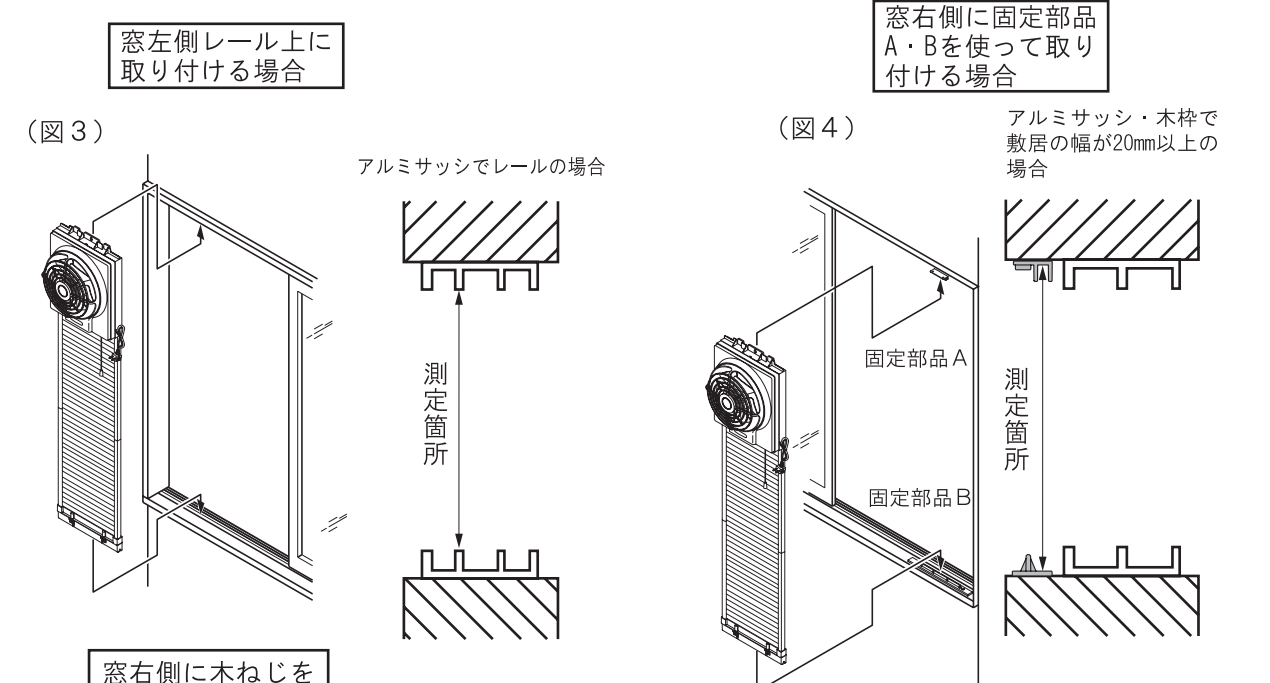


敷居の幅の測定箇所



②窓の高さを測り本体の高さを決める

②ー1 取り付け方法により窓の高さを測定する箇所が違いますので、下図3～5を参照して測定してください。



②-2
本体の高さを
決める

●例として幅1,650mm×高さ770mmの窓木枠に取り付ける場合の、本体高さの寸法は下記になります。
 (※窓木枠の作り方により、本体の高さの寸法に差が出ます。あくまでも参考としてください。)

窓左側レール上に 取り付ける場合 (図-3 参照)	本体の高さ＝測定箇所＋10mm 【仮に測定寸法が700mmの場合】 700＋10で 本体の高さは710mm
窓右側に固定部品 A・Bを使って取り 付ける場合 (図-4 参照)	本体の高さ＝測定箇所 【仮に測定寸法が700mmの場合】 700で 本体の高さは700mm
窓右側に木ねじを 使って窓木枠に取り 付ける場合 (図-5 参照)	本体の高さ＝測定箇所＋20mm 【仮に測定寸法が700mmの場合】 700＋20で 本体の高さは720mm

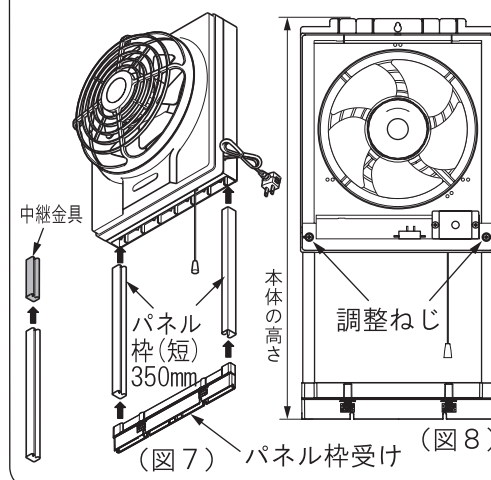
注) 高さが800~880の場合パネル枠をカットしてご使用ください。

- 本体の高さ410mm～670mmの場合パネル枠(短)350mm 1本で対応します。
●本体の高さ530mm～800mmの場合パネル枠(長)470mm 1本で対応します。
●本体の高さ880mm～1150mmの場合パネル枠(長)470mmとパネル枠(短)350mmを接続して対応します。
※本体の高さが1150mm～1950mmの場合は延長パネルセットFM-200HN-S(別売品)をご使用ください。

③パネル枠とパネル枠受けを本体の高さに合わせて組む

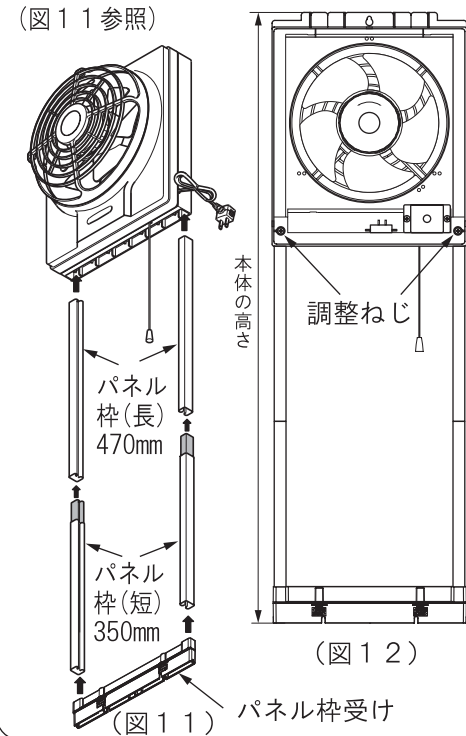
手順 1	① パネル枠を本体に差し込む。(図 7・図 9・図 11 参照) ② パネル枠受けをパネル枠に差し込む。(図 8・10 参照) ③ 全長を窓枠の高さに合わせ、調整ねじを締める。(図 8・10 参照)
------	--

測定寸法が410mm～670mmの場合
パネル枠(短)350mm 2本を使用します。
中継金具をはずす。(図7参照)

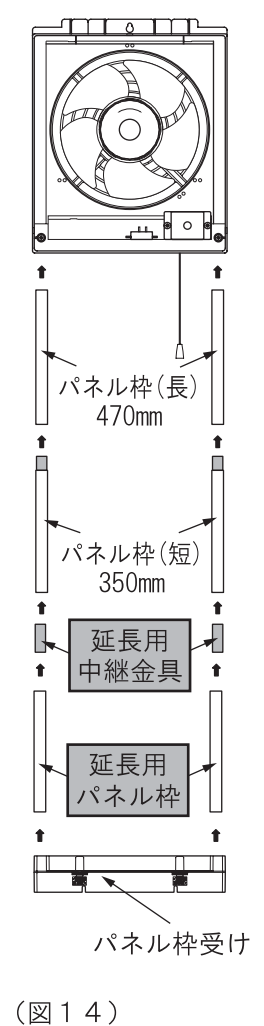


測定寸法が880mm～1150mmの場合

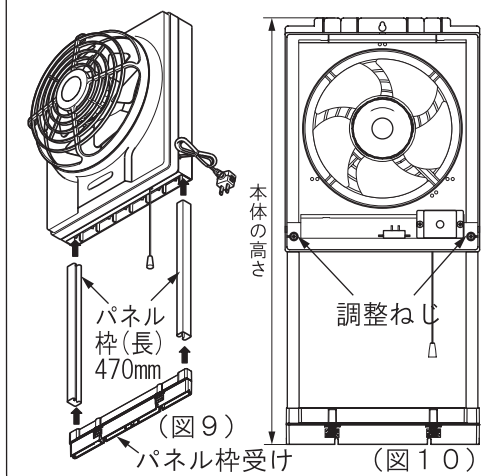
パネル枠(長)470mmとパネル枠(短)430mm
各2本を接続して使用します。
(図11参照)



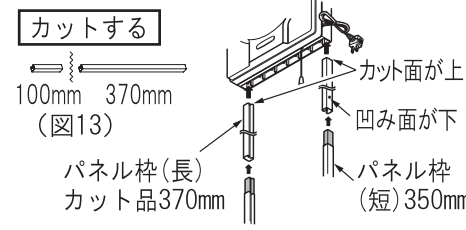
測定寸法が1150mm
以上の場合



測定寸法が530mm～800mmの場合
パネル枠(長)470mm 2本を使用します
(図9参照)

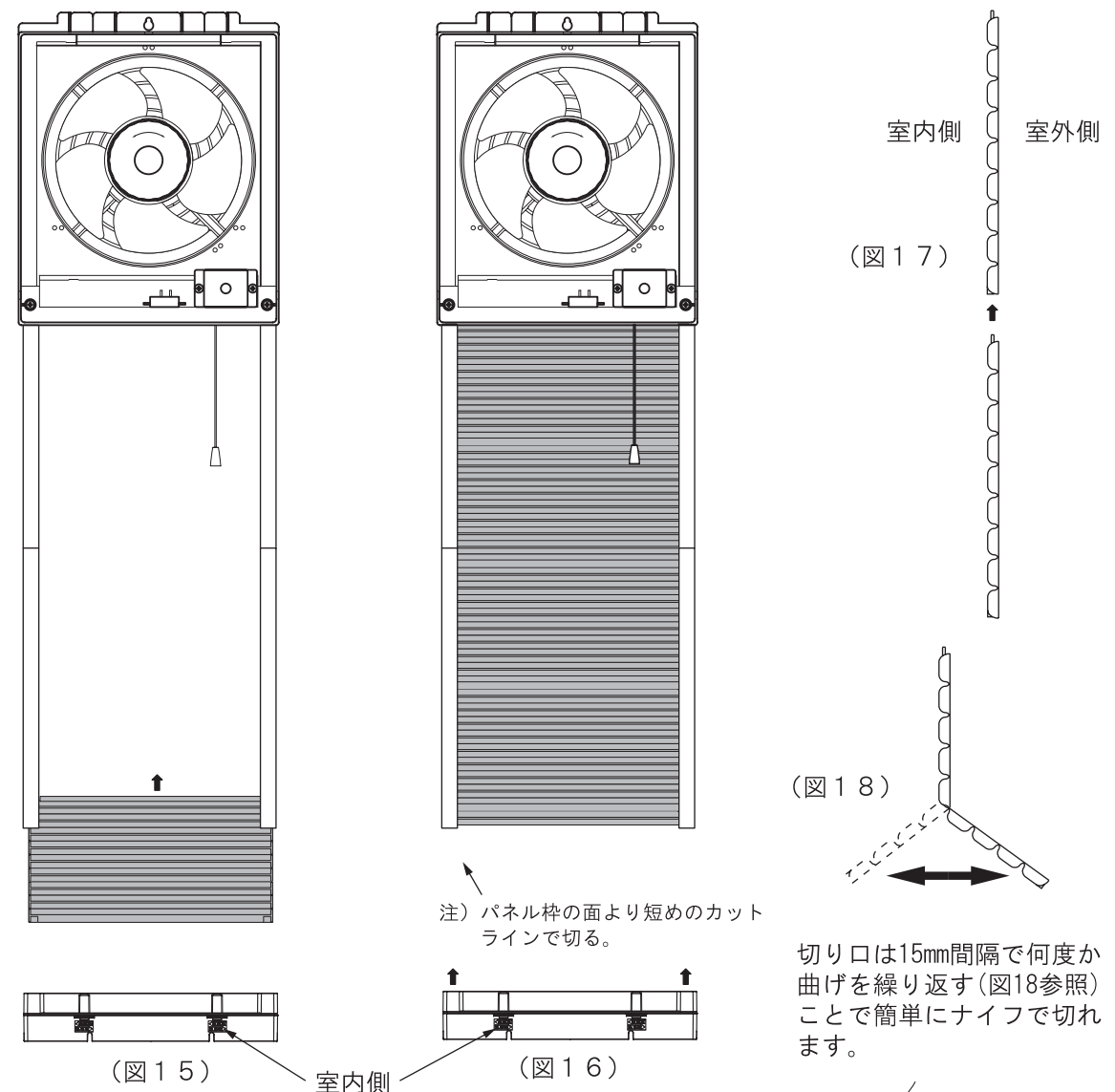


測定寸法が800mm～880mmの場合
パネル枠(長)470mmを100mmカットする。
(図13参照)

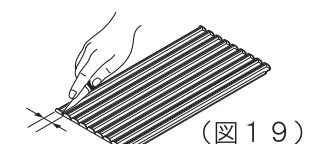


④パネルを組む

手順 1	①パネル枠受けを一度外し、下からパネルをパネル枠のミゾに沿って入れる。 (パネルとパネルの継ぎ目は図 17 を参照) ②パネル枠の端より短めのカットラインで切る。長めですとパネル枠受けがセットできません。(パネルのカットは図 18・19 を参照。) ③再度パネル枠受けをパネル枠に差し込む。
------	---



- 窓左側レール上に取り付ける場合 → 2. ①-1へすすむ
- 窓右側に固定部品A・Bを使って取り付けの場合 → 2. ①-2へすすむ
- 窓右側に木ねじを使って窓木枠に取り付ける場合 → 2. ①-3へすすむ



2. 本体の取り付け

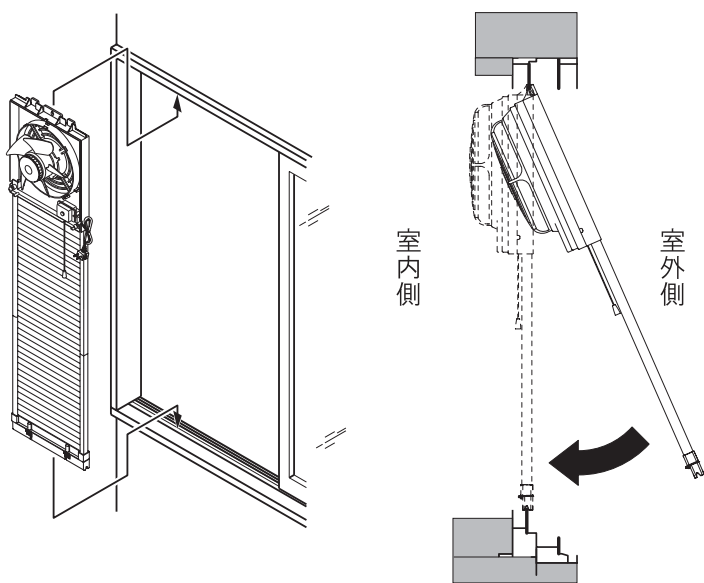
①-1 窓左側へ取り付ける場合

(図20)

手順1

- ① 本体を窓の外に出し、本体の上部を上側レールに差し込む。
- ② 手前に引いてパネル枠受けを下側レールの上に載せる。(図20参照)

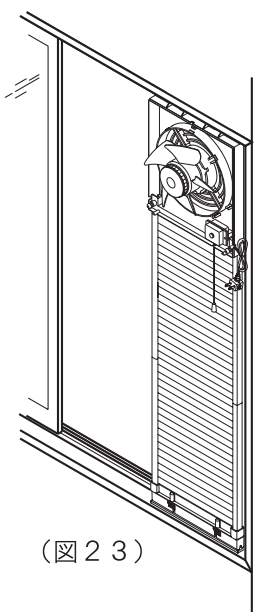
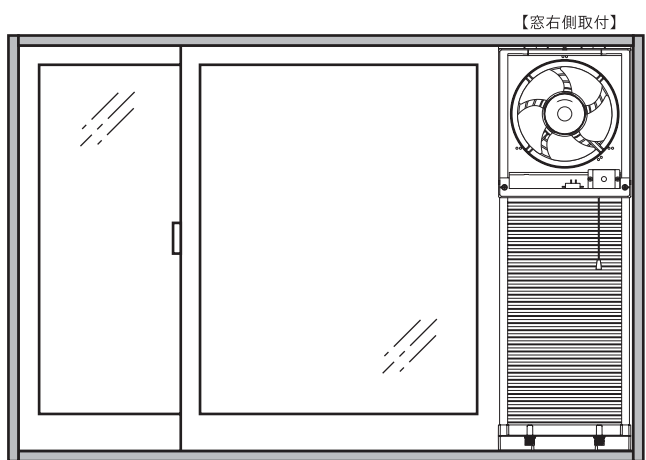
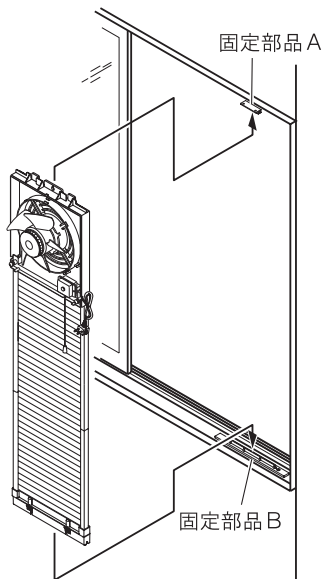
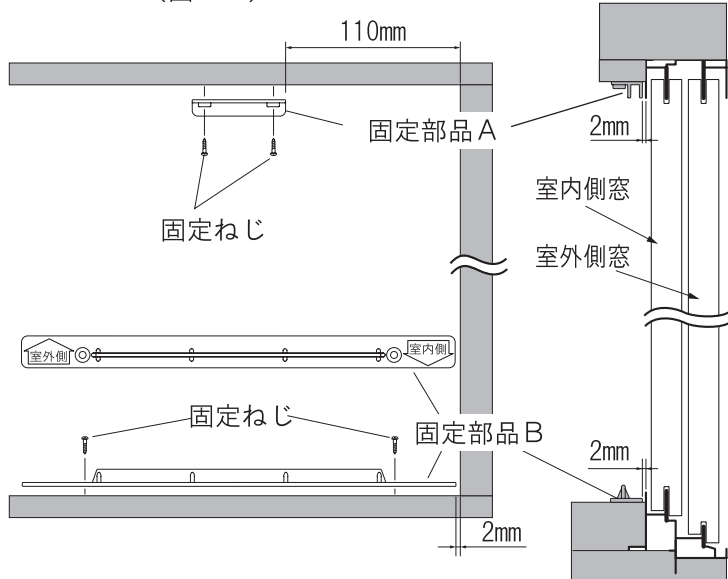
②へすすむ



①-2 固定部品A・B を使って窓右側へ取り付ける場合

(図21)

(図22)



(図23)

手順1

固定部品A・Bの取り付け
図21・22を参照して窓木枠に固定する。

注意

固定部品Bは室内側・室外側に注意して
取り付けてください。

手順2

本体の上部を固定部品Aに差し込み、パネル枠
受けを固定部品Bの上に載せる。(図23参照)

②へすすむ

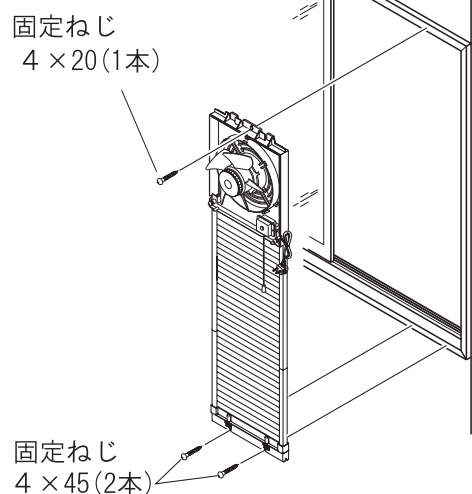
①-3 木ねじを使って窓右側へ取り付けの場合

(図24)

手順1

固定ねじ4×20(1本)・4×45(2本)を使って窓木
枠に固定する。(図24参照)

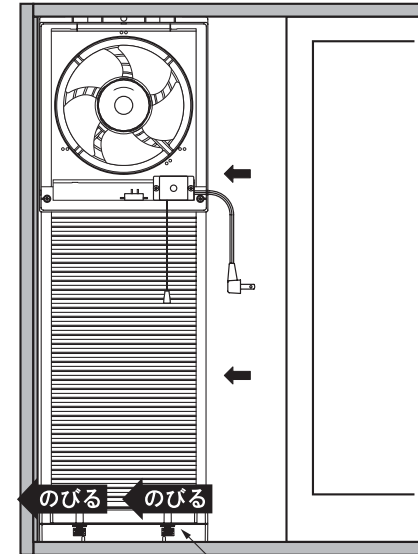
②へすすむ



② 本体の突っ張り調整

手順1

本体を左側にすき間がないように押さえ付け、パネル枠受けを**のびる**の方向に左右均一に
廻し本体にガタツキがないように突っ張る。

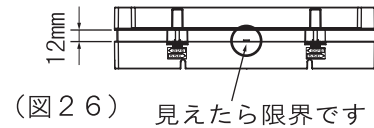


(図25)

パネル枠受け

注1) 突っ張り調整できる範囲は0~12mmです。
図26のセンターの印が見えたら限界です。
突っ張り切らない場合は下記再調整方法で
調整してください。

センターの印が見えても本体
にガタツキがある場合は以下の
手順で再調整してください。



(図26) 見えたら限界です

再調整方法

- ① パネル枠受けをちぢむの方向に廻し最初の位置
まで戻す。
- ② 調整ねじをゆるめる。
- ③ 本体とパネル枠受けを突っ張る。(図27参照)
- ④ 調整ねじを締める。
- ⑤ パネル枠受けをのびるの方向に均一に廻し本体
にガタツキがないように突っ張る。

②・④調整ねじ

③突っ張る

①ちぢむ

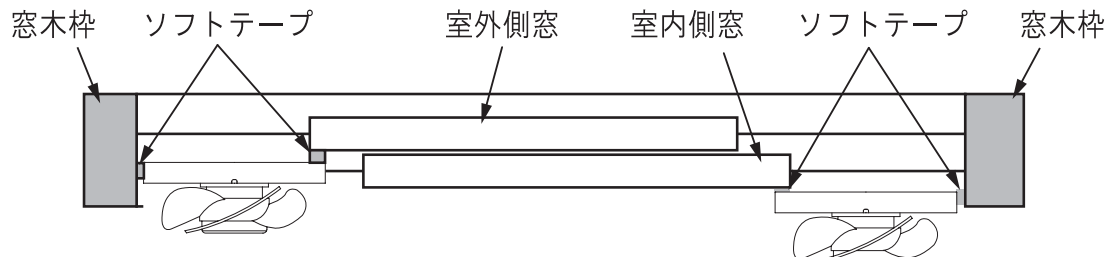
⑤のびる

(図27)

③ 本体にソフトテープの貼り付け

手順1

使用状態に引き戸(窓)をセットし、引き戸(窓)と本体の間にすき間が
できるときは、付属のソフトテープで目張りする。(図28参照)



窓左側へ取り付けの場合 (図28)

窓右側へ取り付けの場合

お願い

- 窓が開閉できることを確かめながら取り付けてください。
- 窓枠の状況に応じて、パネルの上部・本体周りにすきまができないようにソフトテープを
貼り付けてください。
虫や風が室内に入るのを防ぎます。
- ソフトテープが不足の場合は、市販品をお求めください。

お願い

● 窓の構造はいままで説明したほかにもいろいろな種類がありますので、
それぞれの窓にあわせてしっかり取り付けてご使用ください。

④ 取りはずしかた

- 長期間使用しない場合は、取り付けかたの逆の手順で取りはずしてください。
取りはずしたあとは、ビニール袋などに入れ大切に保管しておいてください。

3. 試運転

1. 電源コードを本体内部のコード止めにコードを収めながら、近くのコンセントまで
持って行く。
近くにコンセントがない場合は、延長コードを使用してください。
2. 前面パネルを本体にセットする。このとき電源コードを挟まない様につけること。
3. 電源コードのプラグをコンセントに差し込む。
4. 取扱説明書の運転のしかたを参照して、試運転をおこなってください。

● 異音・振動等ありませんか？

